

【桜島国際火山砂防センター 位置図】



桜島国際火山砂防センター
(桜島砂防出張所)

住所:鹿児島市野尻町203-1



【展示施設更新後のオープン日時】

令和2年 2月 5日 (水) 15:00頃

※一部区域のみ調整等のため15:00頃のオープンとし、通常どおり9:30より開館しています。

【桜島国際火山砂防センターとは】

土石流や火山に関する情報を集中的に管理し、警戒避難に役立つ集中監視室や工事関係者等の避難場所として整備し、平常時は火山・土石流及び砂防事業について楽しく学べる展示施設及び桜島砂防出張所を統合した総合的な施設。

【更新の目的】

活発な火山活動が継続し、土石流発生リスクが依然として高い桜島における土砂災害や砂防事業について、近年増加傾向にある外国人観光客を含む桜島来訪者の理解促進を図る。

【更新のポイント】

更新にあたっては以下に留意。

- ①砂防事業が必要とされる暮らしに関する情報発信。
- ②監視・観測機器の歴史や仕組みに関する情報発信。
- ③桜島等を体感できる展示施設による理解促進。
- ④桜島における関係機関と連携した情報発信。
- ⑤外国人観光客に対する展示施設の多言語化。



① 桜島を体感できるドローンで撮影したVR映像

- ・360度ドローンで撮影した桜島や島内の映像をVRゴーグルや大型タッチパネルモニタで視聴。
- ・ドローンでしか見ることのできない、貴重な映像を通し、砂防事業が必要となる荒廃した溪流の状況等を体感

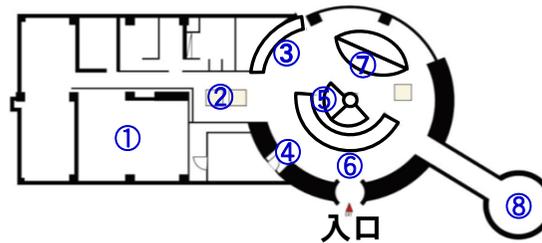


⑧ 観測室から見える景観を解説



② 伸縮計・傾斜計の仕組みを解説

- ・山体の変化を観測する仕組みを、イラスト等にて分かり易く解説



⑥ 来館者数を出身地別等にカウント



⑦ 新たな噴火・土石流映像を追加



③ ワイヤセンサーの仕組みを模型や体感型アトラクションで学ぶ

- ・ワイヤセンサーの仕組みを忠実に再現した模型とワイヤ実物展示
- ・土石流のワイヤセンサーによる検知を体感

④ 関係機関と連携した情報発信

- ・霧島錦江湾国立公園関連スポットの紹介
- ・各種パンフレット等の設置
- ・フェリー・バスダイヤ等の情報提供



⑤ 火山の恵み と人々の暮らしを解説



←灰の実物展示と合わせて解説



国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

調査第二課 上小牧（Eメール：kamikomaki-k8910@mlit.go.jp）

有 嶋（Eメール：arishima-t8910@mlit.go.jp）

TEL：0994－65－2541（代表）

FAX：0994－65－9530